

住民自治協議会だより

第19号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

小田切の四季 写真募集

小田切の
PR事業

住自協では、観光事業推進のため、小田切の観光情報、魅力を内外に発信する事業を行います。まず、地域の魅力を紹介する「小田切の自然」をテーマにした写真を募集しています。

地区内の四季折々の山里風景、伝統行事やイベント、また小田切から望む周辺景色や小田切を眺めた風景などの写真です。

また、自宅で眠る「懐かしい写真」も募集します。かつての建物や村の様子、養蚕や稲作など農作業や農機具のある風景、人々の日々の生活やお祭りなど四季の行事、子どもたちの遊び、村の諸団体の活動記録などです。

小田切の自然 写真募集

四季を感じる山里風景
伝統の行事や変化、イベント
小田切から望む周辺風景
他地区から眺めた小田切

懐かしい写真募集

- かつての村、思い出の風景
- 人々の生活、農作業、生業
- お祭り、四季の行事

※写真はプリントかデータでお願いたします
※作品の使用権は住自協に帰属し、展示やSNS等で無償で使用させていただきます

申込みは小田切地区住自協 229-1511
担当：小池

小田切地区住民自治協議会



長野市社会福祉大会で表彰

第63回長野市社会福祉大会が、8月29日に長野市ふれあい福祉センターで開催され、講演に先立ち式典で社会福祉事業協助者表彰があり、小田切地区から、長年福祉自動車の運転協力員をされた2名に感謝状が贈呈されました。

表彰者 宮尾 忠二（下深沢） 上野 修（下小鍋）

『小田切いきいきサロン』立ち上がりました

第1回は錬成センターで開催

今年3月まで、かがやき広場で毎月1回開催されていた、長野市高齢者福祉課の「生きがいデイサービス」事業が、介護予防・日常生活支援総合事業への制度変更で終了となりました。終了を惜しむ声や再開を望む声が多くのみなさんから寄せられ、小田切地区独自の「小田切いきいきサロン」を立ち上げました。

会員制として、介助（食事、トイレ、入浴）の必要のない方ならどなたでも参加でき、当初41名の申し込みを受けスタートしました。

第1回のサロンは6月17日（土）、青少年錬成センターで33名が参加し、再開を喜びながらおしゃべりや会食などで、楽しいひと時を過ごしたスタートとなりました。

現在では会員57名となり、月1回の計画でふれあい交流ひろばや新橋いこいの家でも開催されます。



29年度 支所発地域力向上支援金事業 決定

支所発地域力向上支援金事業に4団体より応募（内1団体選考前辞退）があり、7月26日に選考委員による審査の結果、2団体への支援が決まりました。

1. 「小田切ふきのとうの会」 西山一二美 会長 支援金124千円

高齢者福祉課の「生きがいデイサービス事業」が3月で中止となり、利用者から集える場所を望む声が多く寄せられました。地区独自の「いきいきサロン事業」が立ち上がり必要備品類を購入します。

2. 「国見イチイ保存会」 斉藤 敏 会長 支援金367千円

樹齢700年の市天然記念物「国見イチイ」は、樹勢が著しく衰えてきました。今回、通常の維持管理に加え、大規模樹勢整備を樹木医や専門業者へ依頼し、樹勢改善と周辺景観の回復を図ります。

薬師寺東塔の解体修理で 発見された瓦

小田切中学校名が刻まれた瓦 里帰り

平成25年（2013年）に奈良薬師寺東塔の解体修理工事で、長野県内の小中高の校名が刻まれた瓦が多数発見され、そこには、小田切中学校の校名の瓦もありました。昭和25年に行われた部分修理の際、募金の呼びかけに応じた各校が寄付したもので、募金した記念に校名が刻まれたものです。

今年7月11日信濃教育会館で、再び屋根瓦として利用できない125枚の瓦が「縁（えにし）の瓦」と名付けられ、里帰り式が行われ各校に引き渡されました。小田切中学校名の瓦は、裾花中学校に「永久貸与」で里帰りしました。

当時の小田切中学校の在校生に確認してみましたが、募金の記憶など当時を知ることはできませんでした。生徒1人当たりの目標額は5円で、戦後間もない物資のない貧しい時代、当時生徒たちに持たせるのでなく、保護者と学校（PTA）で対応したものと思われます。



ひとり暮らし高齢者の集いと 社会を明るくする運動



7月4日、一人暮らし高齢者の集いと社会を明るくする運動を、長年続いた例年の会場から、今年初めて地元の青少年錬成センターでの開催となりました。対象者の参加は24名で、来賓や福祉委員会役員を含む全員で、保健師の「健康講座」と「社会を明るくする運動」集会も併せて行いました。

ふれ愛会食会では、久しぶりの再会と近況の会話などで楽しいひと時を過ごしました。

第1回 小田切鉄道模型文化祭 Nゲージ鉄道模型を楽しもう！

小田切鉄道模型展示館の常連客で立ち上げた同好会「りんごサークル」は、鉄道模型展示館と共催で6月3、4日に鉄道模型展示館と小田切公民館の2会場第1回文化祭を開催しました。Nゲージ鑑賞や仕組みなどの入門講座、メンテナンス講座も行われました。

当日は、それぞれが持ち込んだ車両を走らせることができる企画もあり、人気になっていました。地区内外から延べ250名を超える愛好家や家族連れが楽しみ、特に小さな子どもたちの、走る車両を見つめる姿や歓声が大変印象的でした。第2回は11月25、26日に計画しています。



地域間交流会



ウラビ狩り



三竈神社風穴見学



スポーツ大会

三輪地区

昨年に続き開催された春の三輪地区交流会、今年は5月13日(土)に、鉄道模型館と小田切民族歴史資料館の見学。あいにくの雨でしたが、小野平のわらび狩りと三竈神社見学も行いました。錬成センターでの昼食会交流では親睦を深め、意見交換の場となりました。

6月11日には、親善スポーツ大会が三輪地区で開催され、小田切からスマイルボーリングに2チームが参加し、地公連中心のBチームが敢闘賞と大健闘した交流会となりました。



ゲートボール大会

安茂里地区

5月21日の安茂里地区交流会、スポーツの祭典は、残念ながら各区の行事と重なり参加できませんでした。6月23日に大門公園コートで行われたゲートボール大会には、老人クラブゲートボール部の10名が参加し準優勝しました。

小田切の新名所 富士の塔にパワースポット

長野市青少年錬成センター センター長 福澤治夫

みんなが愛する「富士の塔」。小田切で生まれ育った人でなくても一度は登った事のあるおらが山です。その登山道の脇に不思議な磁気を帯びた大きな「石」がある事を皆様ご存知でしょうか。長野市の小学校学校登山では、本年度5校が小田切高原学校に訪れ、内3校が飯縄山ではなく富士の塔に挑戦しました。これらの学校登山にこの新名所の「パワースポット」を案内し子ども達からは、驚きと感動を頂きました。川田小学校の時には、SBCテレビ「信州・噂の調査隊」でタレントの島田秀平さんが子ども達と一緒に体験し放映されました。

学術的には正直説明できませんが、新聞社の取材では、昔裾花川がまだ無い頃飯縄山の石が現在の富士の塔付近まで転がってきたとの説が有力で、本来この地には無い石が点在するとの事です。特にこの安山岩は鉄分を多く含んでいたのもので、そこに雷が落ちて磁気が残ったのではないかと思います。いずれにしても学術的な説明でなく、子ども達には夢のある「パワースポット」体験として、今後も紹介していきたいと思っています。訪れた人達が心折れそうになった時、遠く富士の塔を仰ぎ見て、あの時頂いたパワーでまた元気になってくれたら嬉しく思います。

夏休みの自由研究にしたいと共和小学校の男子から案内を頼まれたこともあり、色々な実験をして行きました。

小田切地区の皆様、是非ともこの新名所「パワースポット」を共に守って行きましょう。



パワースポット石

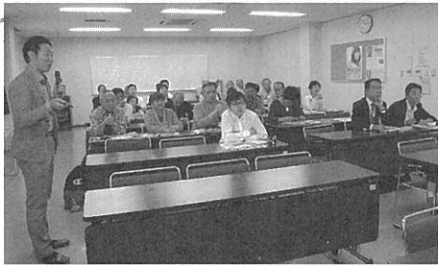


信州大学 小田切で事業実施報告会

5月27日開催

平成28年度信州大学「中山間地域の未来講座Ⅲ」の実施報告会が、5月27日（土）に小田切公民館で開催されました。2月に信大工学部で開催された公開講座を地区の皆さんにも聴いてほしいと開かれたもので、当日は小田切地区の24名と修了生を加えた33名が参加し、活発な意見交換がされました。

報告会終了後、バーベキュー昼食会にて交流を深め、更に意見交換の場となりました。



肺がん検診



6月16日 麻庭バス停

NPO「小田切オアシス」わらび園



6月28日

翔和学園の新道開通



7月23日 田中の農園

豪雨災害 県道小川長野線路肩崩落



8月11日 裾花台団地バス停西

平成29年度 小田切地区各種団体等役員名簿の訂正

環境・地域活性化部会

有害鳥獣対策委員会

(会長) 斉藤 眞一
(副会長) 酒井 昌之
村井 一雄

環境美化連合会

上山 (会長) 西山 和之
(推進員) 長田 貞夫

国見 (会長) 斉藤 眞一
(推進員) 荒井 静雄
戸谷 宏一

千木 (会長) 加嶋 義一
(推進員) 大日方隆人
小林 一平

やまびこ

空梅雨と思われたが、土砂災害警戒情報が例年になく連続した。7月4日に安茂里、七二会、中条の一部に避難勧告が発令された。14日夜8時50分過ぎには、小田切にも避難勧告がでた。新橋、栃久保集落の9世帯22名が対象だったが、被害がなく幸いでした。

更に、8月11日夜には、小田切北面の小鍋地籍が特に大雨で、避難勧告はなかったが土砂崩落など多くの災害がでた。これが最近の傾向である局地的ゲリラ豪雨なのか。

こう雨が続くと、畑にも出られず日照不足も心配な今季。まだまだ台風シーズン、早く正確な情報による行動を心がけたい。